



第3回 JAPANコンストラクション国際賞 2020

建設プロジェクト部門

五十音順(プロジェクト名)

ウォータービュー高速道路プロジェクト ニュージーランド (株)大林組

- ▶ 最大都市オークランドの高速道路未成区間を延長2400mのシールドトンネル2本により接続、市内の交通渋滞緩和と空港アクセスの向上に貢献。
- ▶ 日本からの技術移転により同国初の大断面シールドトンネルを採用し、コスト低減と第三者交通への影響回避を実現。
- ▶ 発注者、設計者、施工者がアライアンスを形成してプロジェクトを遂行する契約に基づき、大林組が全オペレーションの重要決定事項の検討・決裁とトンネルの設計、施工計画、施工管理、リスク管理に参画。



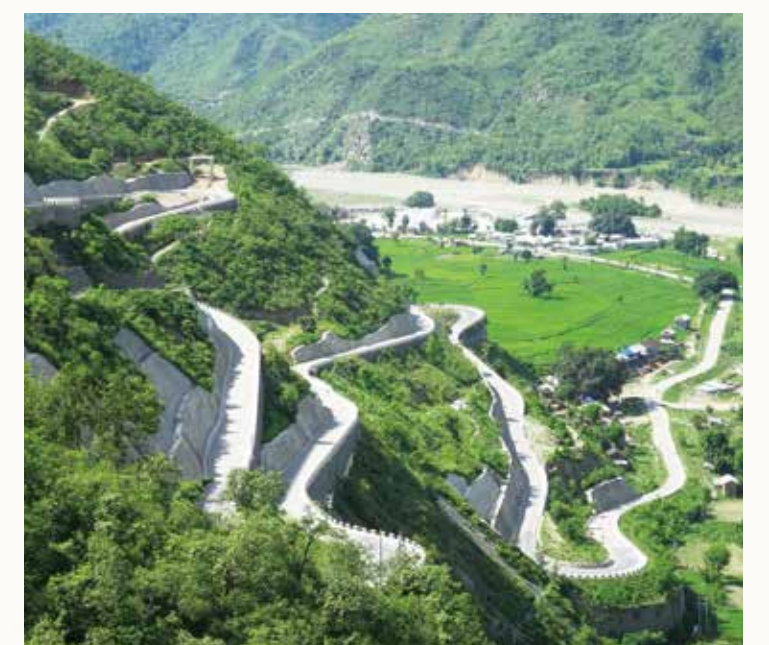
オスマン・ガーズィ橋(イズミット湾横断橋)プロジェクト トルコ (株)IHIインフラシステム

- ▶ トルコ初の橋梁を含む道路BOT事業であるイスタンブールと同国第三の都市イズミールを結ぶ高速道路の長大橋工事。
- ▶ イズミット湾を跨ぐ本橋梁により、フェリーで1時間、湾岸の陸路で約1.5時間かかっていた区間の所要時間を6分に短縮し、420kmの高速道路建設による移動時間の短縮(9時間→4時間半)に大きく貢献、トルコ南西部の発展に大きく寄与した。
- ▶ 全長2682m、世界第4位の中央径間長1550mを誇る吊橋を48か月の短工期で完成させ、長大吊橋としては世界第1位の施工速度を記録。



シンズリ道路(第3工区第2期建設工事・第2工区斜面对策工事) ネパール (株)安藤・間 日本工営株式会社

- ▶ 首都カトマンズからインド国境への新たなルートとして、我が国無償資金協力で整備された全長約160kmの山岳道路中、川沿いの難関区間である最終工区の建設及び豪雨による斜面崩壊部の斜面補強工事。
- ▶ 政治的混乱等により約1箇月の工事遅延が生じていたが、工事エリアの分割化によって工事妨害による中断の影響を局限化する努力や機材・人員の追加投入も行い最終的には繰上げ全線開通を達成。
- ▶ 国土の8割が山岳地帯のネパールで日本企業が優位性を持つ道路防災技術を活用・移転。

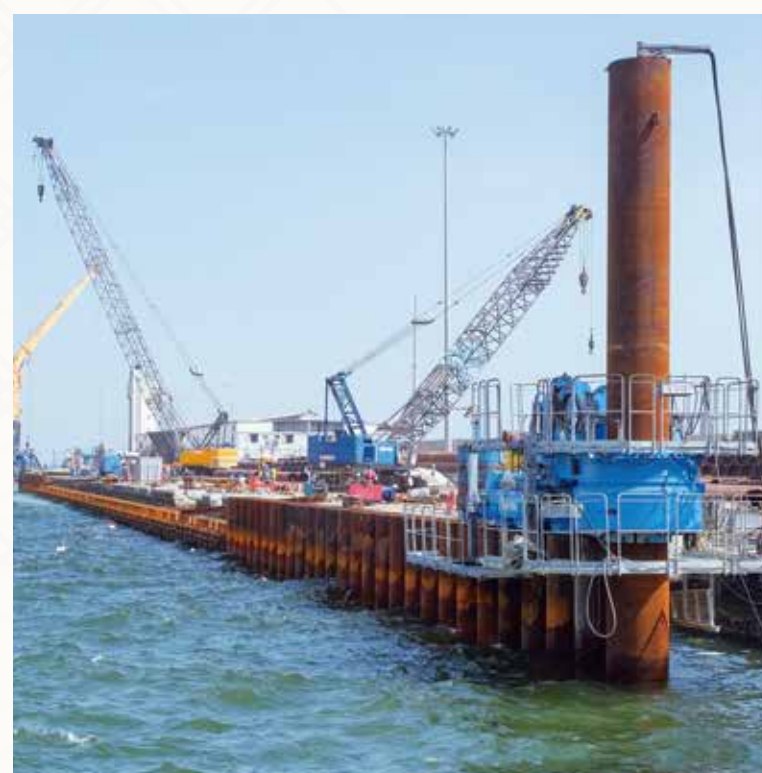


中堅・中小建設企業部門

五十音順(企業名)

(株)技研施工

- ▶ 低振動・低騒音かつ安全・省スペースで杭打ちを行うことができる「圧入工法」を主軸に世界中で事業を展開。
- ▶ 1983年ドイツで行われた展示会で杭圧入機「サイレントパイラー」を出展。低振動・低騒音かつ安全・省スペースという特徴が評価され、同年同国で海外初の工事を受注。その後2020年現在に至るまで世界40か国以上で圧入工法を実施。



ONODA(株)

※株式会社ヘリオス・ホールディングスから社名変更

- ▶ バングラデシュを中心に、高品質なプリペイド式ガスメーターの導入を推進。
- ▶ ガスの浪費が問題となっていたバングラデシュにおいてプリペイド式ガスメーターの導入に参画。2013年JICA普及・促進事業、2016年円借款事業を受注し、同国で計26万台の設置事業を実施中。



国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism of Japan (MLIT)